

山辺町は森林面積が51%を占め、玉虫沼や大沼、荒沼、琵琶沼などの湖沼群が広がる「森と湖沼のふるさと」です。この豊かな自然、森林を守り、育むために今年度は「豊かな森づくり」、「木に親しむ環境づくり」に重点を置いた事業を展開しました。

活動紹介

豊かな里山保育事業

町内の「白坂峠」、「能中峰」は、山菜採りやトレッキング等で利用される憩いの場です。地域住民による自主的な保全活動が行われていますが、森林病虫害による被害や、積雪による枯損木等が放置され、一部危険な箇所が見られました。安全な整備活動ができるように事業を活用して事前伐倒作業を行いました。

【相模公民館を主体とした地域の皆さん】



【作業の様子】



【作業後参加者集合】

【能中峰をよくする会の皆さん】



【作業前の安全講習】



【作業の様子】

県産材普及啓発事業

県産材の普及・啓発を目的に、山形県産天然広葉樹を使用した「モクロック」を山辺南部公民館と近江公民館に配備しました。

木質ブロックで遊ぶ子ども達や参加した保護者の方々から、木のぬくもりや質感を感じてもらいました。



【県産材を活用したモクロック】



【子育て広場の様子】

今後の展開

「人と自然の共存・共生創出の里山再生プロジェクト」(山辺町里山再生アクションプラン)を柱として、地域住民との協同による自然との共存・共生の推進や森林環境の健全化、木育による子ども達への自然や森林の持つ多面的な機能の啓発などに取り組めます。